

放射線医学総合研究所の研究『低線量被ばくによる生体影響に関する細胞遺伝学的評価方法の開発と探索的調査研究』にご協力頂いた被験者の皆様へ

過日は、当所における研究「低線量被ばくによる生体影響に関する細胞遺伝学的評価方法の開発と探索的調査研究（平成 25 年 2 月開始）」にご参加頂き、心より感謝申し上げます。医療法人相生会墨田病院においてご提供頂いた血液試料は、匿名化された後、当所において染色体の解析に使用されました。研究の一部は終了し、その成果は研究委託元の環境省に報告され、現在国立国会図書館で閲覧することが可能です。ご協力いただいた皆様には、あらためて感謝申し上げます。

本研究では、人の血液中の細胞における異常な染色体（二動原体染色体）の発生頻度を従来法、すなわちギムザ染色によって計測する内容が含まれておりました。近年ヒト染色体を DNA プローブという物質を用いることにより、より精度の高い研究手法が開発されました。当所としましては、ご提供された試料の貴重性に鑑み、解析手法を変更することを承認することと致しました。皆様におかれましては、何卒ご理解頂けますようお願い申し上げます。詳細は以下の通りです。

研究課題名：低線量被ばくによる生体影響に関する細胞遺伝学的評価方法の開発と探索的調査研究

研究責任者：原田良信

主な解析手法の変更：(変更前) ギムザ染色による解析

(変更後) セントロメアおよびテロメアプローブを用いた解析

研究にご提供試料等についての変更はございません。

上記の変更に関して、ご質問等がございましたら、以下にお問い合わせいただけますよう、お願い申し上げます。

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 研究企画室

電話；043-206-3010（平日 9:00 ～ 17:00）